



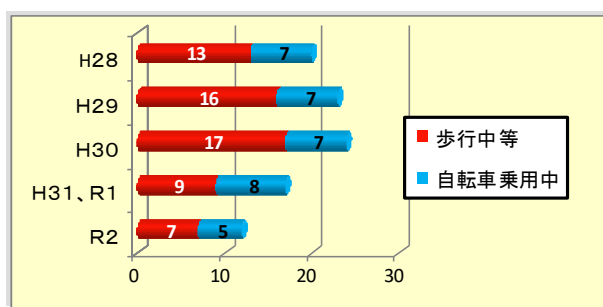
交通安全通信

2021. 4
第 1 号
秋田中央警察署
交通課

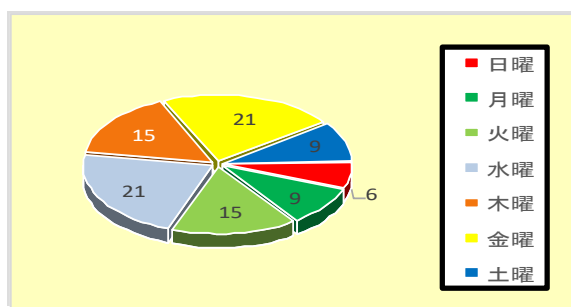
～小学生の交通事故の特徴について～

- ① 秋田県内等の特徴（H28～R2までの過去5年間）
- 歩行中等の事故では「横断中の事故」が最も多い。
 - 事故発生の月別では歩行中事故は「7月」が最も多い。
自転車乗車中では「8月」が最も多い。
 - 秋から冬にかけての歩行中事故も多い。
 - 水曜、金曜日の発生が最も多く、日曜日の発生が最も少ない。
 - 秋田中央警察署管内では、歩行中等の事故は「1年生、2年生」が多く、自転車乗用中の事故は「3年生から5年生」が多い。

小学生の状態別負傷者数



歩行中、自転車乗用中の曜日別負傷者数



② 交通事故に遭わないために・・・

- 知っておきたい「**子供の歩行中交通事故の主な原因**」
 - 急に道路へ飛び出す。
 - 通り過ぎた車のすぐ後ろから横断する。
 - 駐車車両の前後から道路を渡る。
 - 信号が青になったらすぐ渡る。
- 知っておきたい「**子供の危険な特性**」
 - 夢中になると周りが見えない傾向がある。
 - 視野や視界が狭く、車を見落としがち。
 - 身体が小さく駐車車両などに隠れてしまいやすい。
 - 車の速度や動きなどについて、知らないことが多い。



子供を事故から守りましょう

秋田中央警察署